

# 參考資料

「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」（平成29年4月告示）【知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科の目標及び内容】

小学部 国語		小学部		
学 部	小学部			
目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。</p> <p>(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉で伝え合うよさを感ずるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>			
段 階	1 段 階	2 段 階	3 段 階	
目 標	<p>ア 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使用できるようになることと、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。</p> <p>イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。</p> <p>ウ 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。</p>	<p>ア 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けることと、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。</p> <p>イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。</p> <p>ウ 言葉がもつよさを感ずるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>ア 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>イ 出来事や順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 言葉がもつよさを感ずるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	
内 容	<p>ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事柄の内容を表していることを感ずること。</p> <p>(イ) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事柄やイメージに触れたりすること。</p>	<p>ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感ずること。</p> <p>(イ) 日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。</p> <p>(ロ) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。</p>	<p>ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。</p> <p>(イ) 姿勢や口形に気を付けて話すこと。</p> <p>(ロ) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ること。</p> <p>(ハ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。</p> <p>(ニ) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方に、意味が変わることを知ること。</p> <p>(ホ) 正しい姿勢で音読すること。</p>	<p>イ 話や文章の中に含まれている情報の扱い方に、関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>(イ) 図書を用いた調べ方を理解し使うこと。</p>
	<p>イ 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむこと。</p> <p>(イ) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。</p> <p>(ロ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。</p> <p>(ハ) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。</p> <p>(ニ) 筆記用具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知る。</p> <p>(ホ) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。</p>	<p>イ 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。</p> <p>(イ) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。</p> <p>(ロ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。</p> <p>(ハ) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。</p> <p>(ニ) 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けること。</p> <p>(ホ) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。</p>	<p>ウ 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむこと。</p> <p>(イ) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れること。</p> <p>(ロ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。</p> <p>(ハ) 目的に合った筆記用具を選び、書くこと。</p> <p>(ニ) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。</p> <p>(ホ) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知る。</p>	

内 容 〔優等力・判断力・表現力等〕	A 聞くこと・ 話すこと	B 書くこと	C 読むこと
	<p>聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 教師の話や読み聞かせに応じて、音声や読み聞かせ、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。</p> <p>イ 身近な人からの話し掛けに注目したり 応じて答えたりすること。</p> <p>ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。</p>	<p>書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。</p> <p>イ 文字に興味をもち、書こうとすること。</p>	<p>読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。</p> <p>イ 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。</p> <p>ウ 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。</p> <p>エ 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。</p>
A 聞くこと・ 話すこと	<p>聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。</p> <p>イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。</p> <p>ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。</p> <p>エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。</p>	<p>書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。</p> <p>イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。</p>	<p>聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ること。</p> <p>イ 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。</p> <p>ウ 見聞したことなどのあらまじや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。</p> <p>エ 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。</p> <p>オ 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。</p> <p>カ 相手の話に興味をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。</p>
B 書くこと	<p>書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。</p> <p>イ 見聞きたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。</p> <p>ウ 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。</p> <p>エ 書いた語句や文を読み、間違いを直すこと。</p> <p>オ 文などに対して感じたことを伝えること。</p>	<p>読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。</p> <p>イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。</p> <p>ウ 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。</p> <p>エ 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。</p>	<p>書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。</p> <p>イ 見聞きたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。</p> <p>ウ 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。</p> <p>エ 書いた語句や文を読み、間違いを直すこと。</p> <p>オ 文などに対して感じたことを伝えること。</p>
C 読むこと	<p>読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。</p> <p>イ 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。</p> <p>ウ 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。</p> <p>エ 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。</p>	<p>読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。</p> <p>イ 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。</p> <p>ウ 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。</p> <p>エ 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。</p>	<p>読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。</p> <p>イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。</p> <p>ウ 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。</p> <p>エ 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。</p>

※本資料は、目標と内容の一覧を示したものであるが、指導計画を作成する際には、「指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い」に留意する必要がある。

小学部 算数

「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」（平成 29 年 4 月告示）【知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科の目標及び内容】

小学部		小学部			
学 部	目 標	1 段 階	2 段 階	3 段 階	目 標
	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>				
	<b>段 階</b>	<b>1 段 階</b>	<b>2 段 階</b>	<b>3 段 階</b>	
	<b>A</b>	<b>A 数量の基礎</b>	<b>A 数量の基礎</b>	<b>A 数量の基礎</b>	
	<b>A</b>	<p>身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせさせたり、数量に関心をもって関わる力を養う。</p> <p>数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもつようとする態度を養う。</p>	<p>身の回りのものについて分かり、数についての感覚をもつとともに、ものとの関係に関心をもって関わることに付いての技能を身に付けるようにする。</p> <p>日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。</p> <p>数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにする。</p> <p>日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。</p> <p>数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>	
	<b>B</b>	<b>B 数と計算</b>	<b>B 数と計算</b>	<b>B 数と計算</b>	
	<b>B</b>	<p>身の回りのものや無や算的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。</p> <p>数量に気付き、算数の学習に関心をもつようとする態度を養う。</p>	<p>身の回りのものや無や算的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。</p> <p>数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>身の回りのものや無や算的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。</p> <p>数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>	
	<b>C</b>	<b>C 図形</b>	<b>C 図形</b>	<b>C 図形</b>	
	<b>C</b>	<p>身の回りのものや上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることに付いての技能を身に付けるようにする。</p> <p>身の回りのものや形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。</p> <p>図形に気付き、算数の学習に関心をもつようとする態度を養う。</p>	<p>身の回りのものや形に注目し、集めたり、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。</p> <p>図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>身の回りのものや形に注目し、集めたり、分類したり、集めたりして、形の性質の大きさを身に付けるようにする。</p> <p>身の回りのものや形に着目し、ひたたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。</p> <p>図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>	
	<b>D</b>	<b>D 測定</b>	<b>D 測定</b>	<b>D 測定</b>	
	<b>D</b>	<p>身の回りにあるものや長さや大きさなど、量の違いに注目し、量の大きさを区別する力を養う。</p> <p>数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもつようとする態度を養う。</p>	<p>身の回りにあるものや長さや大きさなど、量の大きさに注目し、量の違いが分かるようにする。</p> <p>身の回りや図形に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。</p> <p>数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>身の回りや図形に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。</p> <p>数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>	
	<b>E</b>	<b>E データの活用</b>	<b>E データの活用</b>	<b>E データの活用</b>	
	<b>E</b>	<p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感しながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>身の回りや身近な出来事について、表やグラフで表したり、読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>数量や図形に関心をもち、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>	

内容	A 数量の基礎	A 数と計算	A 数と計算
<p><b>A 数量の基礎</b></p>	<p><b>A 数量の基礎</b></p> <p>ア 数量に関する数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>㉞ 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p> <p>㉟ 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㉞ 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協働させながら捉えること。</p> <p>イ もののものを対応させることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>㉞ もののものを対応させて配ること。</p> <p>㉟ 分割した絵カードを組み合わせること。</p> <p>㊱ 関連の深い絵カードを組み合わせること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㉞ もののものを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。</p>	<p><b>A 数と計算</b></p> <p>ア 10までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>㉞ もののものを対応させることによって、もの個数を比べ、同等・多少が分かること。</p> <p>㉟ ものの集まりと対応して、数詞が分かること。</p> <p>㊱ ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。</p> <p>㊲ 個数を正しく数えたり書き表したりすること。</p> <p>㊳ 二つの数を比べて数の大小が分かること。</p> <p>㊴ 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。</p> <p>㊵ 0の意味について分かること。</p> <p>㊶ 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。</p> <p>㊷ 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみることを。</p> <p>㊸ 10の補数が分かること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㉞ 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。</p>	<p><b>A 数と計算</b></p> <p>ア 100までの整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>㉞ 20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすること。</p> <p>㉟ 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること。</p> <p>㊱ 数える対象を2ずつや5ずつのまとまりで数えること。</p> <p>㊲ 数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること。</p> <p>㊳ 具体物を分配したり等分したりすること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㉞ 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと。</p> <p>㊴ 整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>㊵ 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>㉞ 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解すること。</p> <p>㊱ 加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。</p> <p>㊲ 1位数と1位数との和が20までの加法の計算ができること。</p> <p>㊳ 1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができること。</p> <p>㊴ 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解すること。</p> <p>㊵ 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。</p> <p>㊶ 20までの数の範囲で減法の計算ができること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㉞ 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすること。</p>

	<p><b>C 図形</b></p> <p>ア ものの類別や分類・整理に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p> <p>⑧ 形を観点に区別すること。</p> <p>⑨ 形が同じものを選ぶこと。</p> <p>⑩ 似ている二つのものを結び付けること。</p> <p>⑪ 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。</p> <p>⑫ 同じもの同士の集合づくりをすること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協働させながら具体物を捉えること。</p> <p>⑧ ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつこと。</p> <p>⑨ ものとの関係に気付き、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすこと。</p>	<p><b>B 図形</b></p> <p>ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 色や形、大きさに着目して分類すること。</p> <p>⑧ 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ もの色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。</p> <p>イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ること。</p> <p>⑧ 縦や横の線、十字、△ や□ をかくこと。</p> <p>⑨ 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたら、集めたりすること。</p>	<p><b>B 図形</b></p> <p>ア 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。</p> <p>⑧ 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。</p> <p>⑨ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りにあるものから、いろいろなる形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。</p> <p>⑧ 身の回りにあるもの形を図形として捉えること。</p> <p>⑨ 身の回りにあるもの形の観察などをして、もの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。</p> <p>イ 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 傾斜をつくると角ができることと角ができることを理解すること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現すること。</p>
<p><b>C 測定</b></p> <p>(1 階はC)</p>	<p><b>D 測定</b></p> <p>ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。</p> <p>⑧ ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現すること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。</p>	<p><b>C 測定</b></p> <p>ア 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、二つの量の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。</p> <p>⑧ 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。</p> <p>⑨ 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い、狭いなどの用語が分かること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもち、量の大きさを用語を用いて表現したりすること。</p>	<p><b>C 測定</b></p> <p>ア 身の回りのものの量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること。</p> <p>⑧ 身の回りにあるもの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすること。</p> <p>イ 時刻や時間に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 日常生活の中で時刻を読むこと。</p> <p>⑧ 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解すること。</p> <p>(4) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結び付けて表現すること。</p>

内 容

内容	D データの活用		D データの活用	D データの活用
		<p>(A) 内容の「A 数量の基礎」、「B数と計算」、「C図形」及び「D測定」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組みます。</p> <p>(7) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関する活動</p> <p>(1) 日常生活の問題を取り上げた算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動</p>	<p>ア 物の分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。</p> <p>(1) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。</p> <p>イ 同等と多少に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ もののものとを対応させることによって、もの同等や多少が分かること。</p> <p>(1) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。</p> <p>ウ <math>\bigcirc \times</math> を用いた表に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りの出来事から <math>\bigcirc \times</math> を用いた簡単な表を作成すること。</p> <p>④ 簡単な表で使用する <math>\bigcirc \times</math> の記号の意味が分かること。</p> <p>(1) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>⑦ 身の回りの出来事を捉え、<math>\bigcirc \times</math> を用いた簡単な表で表現すること。</p> <p>(数学的活動)</p> <p>ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組みます。</p> <p>(7) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動</p> <p>(1) 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動</p> <p>(7) 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動</p>	<p>ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組みます。</p> <p>(7) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動</p> <p>(1) 日常生活の問題から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動</p> <p>(7) 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動</p>

※本資料は、目標と内容の一覧を示したものであるが、指導計画を作成する際には、「指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い」に留意する必要がある。